

【補助金等情報】

以下は、2023 年時点で各所管機関の Web サイトで公開されている情報を元に取りまとめたものです。実際に申請を検討される際には、最新の情報を確認してください。

<環境活動支援>

名 称	大阪府環境保全活動補助金
所 管	大阪府 環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課
対 象	地球温暖化防止活動や環境美化活動などの実践活動 環境イベントや学習会などの教育啓発活動 環境保全に関する調査研究活動
補助率	下記①②のうち低い方の額、かつ上限 35 万円、下限5万円の範囲内 ①補助対象経費の2分の1 ②補助対象経費から事業実施に伴う収入（事業参加者から徴収する参加料、事業に伴う広告料や出展料、事業への協賛金など）を減じた額
URL	https://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/katsudo/hoiyokin.html

名 称	地球環境基金
所 管	独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部
対 象	活動分野 ・自然保護・保全・復元／森林保全・緑化／大気・水・土壌環境保全 ／総合環境教育／その他の環境保全活動 他 活動形態 ・実践活動／知識の提供・普及啓発 他 対象となる団体 ・特定非営利活動法人／一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、 公益財団法人／任意団体（条件あり） ・企業・地方公共団体は対象外
助成額	活動内容に応じて、50 万円～300 万円等
URL	https://www.erca.go.jp/efge/

名 称	大阪湾広域臨海環境整備センター「環境保全市民活動等助成金」
所 管	大阪湾広域臨海環境整備センター
対 象	水域環境保全（水質保全、水域生物環境の保全等）に関する環境教育、啓発活動 ※大阪湾広域臨海環境整備センター広域処理対象区域内の地方公共団体からの推薦等の条件有
助成額	助成対象経費の1/2以下（10万円を上限）
URL	http://www.osakawan-center.or.jp/index.php/citizens-activities-grant

名 称	セブン・イレブン記念財団「環境市民活動助成」
所 管	セブン・イレブン記念財団
対 象	自然環境保護や生物多様性の保全、気候変動対策、体験型の環境学習など、市民が主体となって行う環境活動を1年間支援
助成額	1団体あたり最大 100万円
URL	https://www.7midori.org/josei/

名 称	サンライズ財団環境助成金
所 管	公益社団法人 日本フィランソロピー協会
対 象	対象事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に根付いた環境保全や環境整備 ・ 子供たちへの環境教育 対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公益性を有し、利益を追求しない法人 ・ 公益法人、特定非営利活動法人、一般法人（任意団体は対象外） ・ 法人格を取得後3年以上の本助成のテーマに関する活動実績有
助成額	1法人1事業を対象とし、上限100万円
URL	https://www.philanthropy.or.jp/sunrise/2024/

<子ども育成支援>

名 称	子どもゆめ基金
所 管	独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部
対 象	自然体験活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな自然を活用した屋外活動 ・ フィールドワークを活用した環境教育活動 ・ 身近な自然を生かした探究活動 等 科学体験活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 科学実験・観察実習活動 ・ ものづくり体験や自然科学のワークショップ 等 他
助成額	全国規模の活動：1団体あたり最大600万円 都道府県規模の活動：1団体あたり最大200万円 市区町村規模の活動：1団体あたり最大100万円
URL	https://yumekikin.niye.go.jp/

名 称	子供たちの環境学習活動に対する助成事業
所 管	公益財団法人高原環境財団
対 象	<ul style="list-style-type: none"> ・申請者が小学生以下の子供を対象に行う、緑化や自然体験などの環境保全に関する体験・学習活動 ・活動参加者が、おおむね日本国内の都市部またはその周辺地域居住者であること
助成額	助成対象費用の額、または50万円のいずれか少ない額 予算額 500万円
URL	https://takahara-env.or.jp/subsidy/

名 称	公益財団法人ノエビアグリーン財団 助成事業
所 管	公益財団法人ノエビアグリーン財団
対 象	<p>対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然体験を通じて、子供たちの自然への理解や興味関心を深めることを目的とした活動 ・環境保全や改善について子供たちの意識向上を図ることを目的とした活動 ・地域の子供たちの教育の向上や健全な育成に貢献する体験活動 <p>対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している団体
助成額	1件あたり上限300万円
URL	https://www.noevirgreen.or.jp/grants/

<水辺環境づくり>

名 称	公益財団法人日本財団 助成金
所 管	公益財団法人日本財団
対 象	<p>対象事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海や船に関する事業 海の安全・環境をまもる／海と身近にふれあう 他 <p>対象団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国内に所在する、財団法人・社団法人・特定非営利活動法人（NPO法人）・任意団体（法人格のない団体）など、非営利活動・公益事業を行う団体（株式会社などの営利法人は対象外）
補助率	助成対象事業費総額の80%以内
URL	https://www.nippon-foundation.or.jp/grant_application

名 称	河川基金
所 管	公益財団法人河川財団
対 象	<p><川づくり団体部門> (流域川づくり団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川や流域への理解を深める活動 ・ 河川教育を支援する活動 ・ 人材育成、指導者育成に焦点を当てた活動 ・ 川づくり団体が行う社会教育的活動 ・ 河川環境の保全活動 ・ 防災・減災に関する活動 <p>他</p> <p><学校部門> (河川教育とりくみ支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育計画の検討 : 河川教育を取り入れたカリキュラム、指導計画、単元・教材等の開発のための資料収集・調査及び検討 等 ・ 地域等との連携強化 : 地域の関係機関、専門家や市民団体等との連携強化 等 ・ 体験活動の準備・試行 : 川や水辺の事前調査、安全活動のための準備、体験活動等の試行 等 <p>他</p>
補助額	川づくり団体部門：定額 30 万円～100 万円 学校部門（河川教育とりくみ支援）：定額 10 万円
URL	https://www.kasen.or.jp/kikin/tabid289.html

名 称	一般財団法人みなと総合研究財団「未来のみなとづくり助成」
所 管	一般財団法人みなと総合研究財団
対 象	<p>対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境教育等に係る港や海辺の活動 ・ 港湾の利用促進や港湾・海域環境の保全・再生等に関する調査研究 <p>対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 港や海辺を活動の拠点とする特定非営利活動法人、もしくは、それに準じた実績を有する任意団体等 ・ 港湾の利用促進や港湾・海域環境の保全・再生等に関する調査研究を行う大学、研究機関、特定非営利活動法人
助成額	海辺活動：1 活動あたり 20 万円を限度 調査研究：1 研究あたり 40 万円を限度
URL	https://www.wave.or.jp/doc/zyosei_index.html

<自然とのふれあい>

名 称	公益信託富士フィルム・グリーンファンド(活動助成・研究助成)
所 管	一般財団法人自然環境研究センター
対 象	自然環境保全活動もしくは自然とのふれあい活動 「自然とのふれあい」=自然と接し楽しむだけではなく、自然環境保全、自然環境教育、自然環境保護思想の普及に資する啓発につながるもの
助成額	8 件程度、総額 850 万円を予定
URL	http://www.jwrc.or.jp/service/shintaku/fgf_ken.htm

5. 今回の（エコツアー名）に参加されて良かったと思いますか。最も近いと思う数字に「○」を付けてください。

（良かった） ←————→ （良くなかった）
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10

6. 今後、同じようなエコツアーが開催されたら、また、参加したいと思いますか。

- 是非とも参加したい。
- 内容によっては参加したい。
- どちらとも言えない。
- 参加しない。

7. 今後、実施してほしいエコツアーのテーマがありましたら自由にお書きください。

[]

6. 今回の（体験型環境学習名）に参加されて良かったと思いますか。最も近いと思う数字に「○」を付けてください。

（良かった） ←————→ （良くなかった）
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10

7. 今後、同じような体験型環境学習会が開催されたら、また、参加したいと思いますか。

- 是非とも参加したい。
- 内容によっては参加したい。
- どちらとも言えない。
- 参加しない。

8. 今後、実施してほしい体験型環境学習会のテーマがありましたら自由にお書きください。

[]

【参考文献、情報サイト等】

1. 法令・公的計画等

- ・「『豊かな大阪湾』 保全・再生・創出プラン」大阪府（令和4年10月）
- ・「今後の大阪湾における環境の保全・再生・創出のあり方について（答申）」
（令和4年6月）
- ・「大和川自然再生計画」国土交通省 近畿地方整備局大和川河川事務所
（令和3年3月）
- ・「大阪湾再生行動計画（第二期）」大阪湾再生推進会議（令和元年5月）
- ・「第5回自然環境保全基礎調査」環境省
- ・「大阪湾沿岸海岸保全基本計画」大阪府・兵庫県（平成14年8月）
- ・「エコツーリズム推進法」

2. 冊子等

- ・「大阪湾魅力ウォークマップ」大阪府環境保全課（令和元年11月）
- ・「大阪の生物多様性ホットスポット」大阪府みどり企画課（平成28年1月）
- ・「淀川の干潟にいてみよう！」国土交通省 近畿地方整備局淀川河川事務所
（平成27年2月）
- ・「淀川のワンドにいてみよう！」国土交通省 近畿地方整備局淀川河川事務所
（平成28年2月）
- ・「里海づくりの手引書」環境省（平成23年3月）

3. 情報サイト

- ・大阪湾環境データベース
<http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/amuse/arekore/view.aspx>
- ・大阪湾再生推進会議
<https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/suishin/>
- ・大阪湾環境保全協議会
<https://www.osaka-wan.jp/>
- ・エコツーリズム（環境省）
<https://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/index.html>
- ・大阪泉州環境ガイド（KIX泉州ツーリズムビューロー）
<https://welcome-to-senshu.jp/>
- ・大阪府の漁港（海上保安庁）
https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN5/siryouko/naname/osaka/osaka_gyoko.htm